

2018年1月31日

「ファミ通」マーケティング速報

PS4「モンスターハンター：ワールド」、 発売3日間で135万本を販売！

PS4タイトルで過去最高の初動、累計販売本数も歴代トップに。

ゲーム総合情報メディア「ファミ通」は、カプコンが2018年1月26日に発売した、プレイステーション4向けソフト「モンスターハンター：ワールド」の国内推定販売本数を速報としてまとめました。

■「モンスターハンター：ワールド」売上速報

(集計期間:2018年1月26日～2018年1月28日／販売日数:3日間)

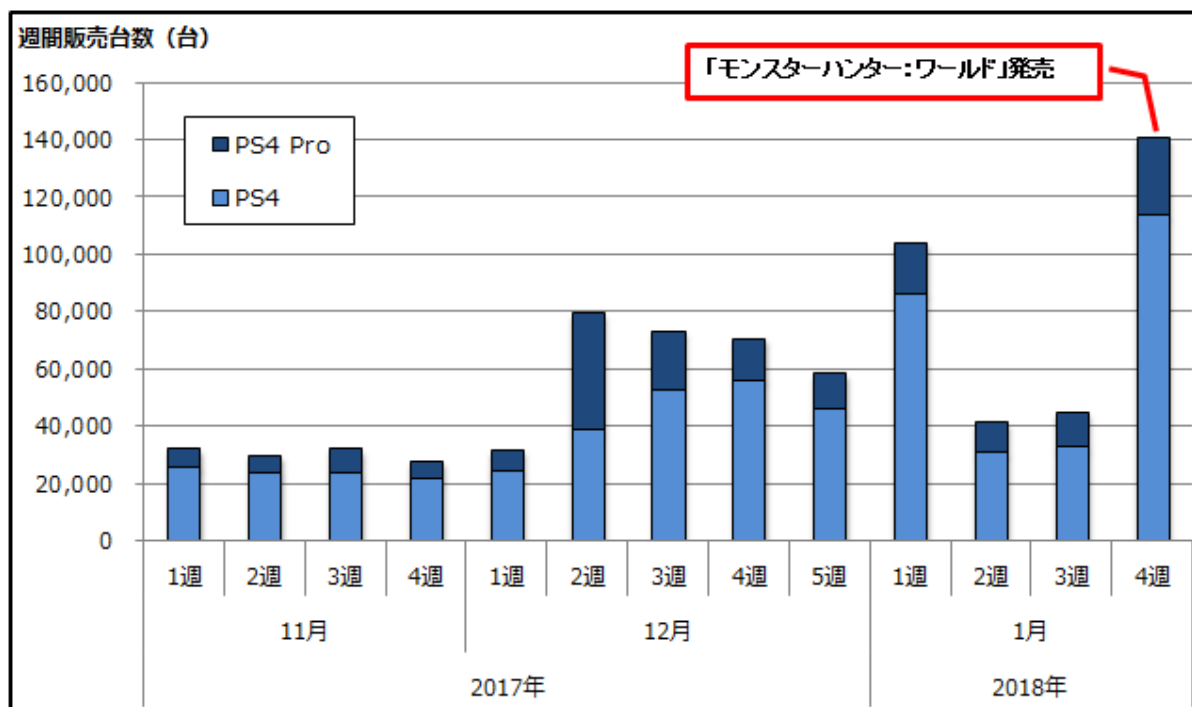
国内推定販売本数：1,350,412本

※限定版と本体同梱版を含む。(ダウンロード版の本数は含みません)

【ご参考】

2017年11月～2018年1月 プレイステーション4本体週間販売台数推移(国内)

(集計期間:2017年10月30日～2018年1月28日)



ファミ通調べ

今回の速報について

「モンスターハンター:ワールド」は発売3日間(初週)で135.0万本を売り上げ、プレイステーション4向けソフトの中で過去最高の初週販売本数を記録。累計販売本数も歴代1位となりました。さらに、ダウンロード版を含めると、200万本を超える勢いと推測されます。

本作発売週(2018年1月22日~1月28日)のプレイステーション4(プレイステーション4 Proを含む)の週間販売台数は、前週の44,910台から3.1倍の140,432台となり、前週の販売台数から大幅に増加。「モンスターハンター:ワールド」がハードの牽引にも貢献していると言えます。また、週間販売台数としては、プレイステーション4本体発売週(2014年2月17日~2月23日)の322,083台に次ぐ歴代2位となっています。なお、プレイステーション4は累計販売台数が6,187,000台となりました。

※本データを記事にてご使用になる場合は、ファミ通調べ、もしくはゲーム雑誌「ファミ通」を発行する当社(Gzブレイン)調べなど、必ず「ファミ通」というブランド名の記載をお願いいたします。

◆「ファミ通」について

ファミ通グループでは、ゲーム総合情報誌「週刊ファミ通」をはじめとするファミ通各誌、「ファミ通.com」や「ファミ通App」といったゲーム情報サイトなど、様々なサービスを展開しています。また、電子出版事業にも積極的に取り組み、「週刊ファミ通」電子版や、ゲーム攻略本・設定資料集の電子書籍を多数配信しています。さらに、全国約3,600店舗のファミ通協力店からゲームの売上データを集計、毎年「ファミ通ゲーム白書」を発刊。12月12日には、モバイルゲームに特化した「ファミ通モバイルゲーム白書 2018」を発売しました。

◆株式会社Gzブレイン(ジーズブレイン)について

株式会社Gzブレイン(代表取締役社長:浜村 弘一)は2017年7月3日、カドカワ株式会社の100%子会社として設立。『ファミ通』や『B's-LOG』ブランドをはじめとする、様々なゲームメディア・サービスの企画・制作・編集・運営を行っています。情報誌や書籍の出版だけでなく、Webメディアやイベントの企画・運営、ゲーム動画・映像配信やコンテンツ制作、ゲームマーケティング事業など、あらゆる角度からゲームの面白さを伝える事業を展開しています。
公式サイト URL: <http://gzbrain.jp>

